

## 英語表現Ⅱ 年間授業計画

講座名	英語表現Ⅱ	担当者	
単位数	4単位	選択・必修	選択履修
教科書	NEW ONE WORLD Expressions II Revised Edition (教育出版)		
副教材等	NEW ONE WORLD Expressions II Revised Edition Workbook (教育出版)	NEW ONE WORLD Expressions II Revised Edition 授業ノート (教育出版)	

### ◎講座のねらい(目標)

1. 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。
2. 事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。

### ◎授業の内容と学習方法

- 授業の内容は、「英語表現Ⅰ」で学習した内容をふまえながら、主に次のような活動を行う。
1. 「話す」ことを中心とした活動では、与えられた条件に合わせて、即興で話したり、伝えたい内容を整理して論理的に話したりする。
  2. 「書く」ことを中心とした活動では、主題を決め、様々な種類の文章を書く。
  3. 「話す」ことを中心に、「書く」ことや「聞く」ことを組み合わせた活動では、聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。また、発表されたものを聞いて、質問したり意見を述べたりする。
- これらの技能を別々に扱うのではなく、有機的に関連づけながら、総合的・統一的な言語活動を行う。

### ◎履修上の留意点

1. 授業では、積極的にペアワークやグループワークに参加すること。多少のミスは恐れず、話し方や顔の表情、しぐさなどを工夫して、自分の考えや気持ちを相手に伝えることが重要である。また、他の人々への関心や思いやりの心を持つことが、コミュニケーションを図る際には大切である。
2. 教科書の予習・復習をすること。例えば、ユニット1の各レッスンで取り上げられている重要表現が、レッスンの始めにあるモデル文のどこで使われているかを調べ、意味を確認するなどしておくこと。また、間違えた問題や難しかった問題は、必ず復習すること。

### ◎評価の観点・方法

評価は、授業でのコミュニケーション活動への態度、ワークシートなどの提出物の内容、中間・期末の定期考査の成績、出席状況などを勘案して行う。各学期の成績を総合して年度末の学習成績とし、規準に到達すれば単位認定を行う。評価の観点は以下の通り。

評価の観点及び内容		評価方法
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション活動への参加態度</li> <li>・発表の内容</li> <li>・ワークシートの提出頻度と内容</li> </ul>
外国語表現の能力	事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション活動の内容</li> <li>・発表の内容</li> <li>・ワークシートの提出頻度と内容</li> </ul>
外国語理解の能力	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解しているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査の成績</li> <li>・ワークシートの提出頻度と内容</li> </ul>
言語や文化についての知識・理解	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解しているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査の成績</li> <li>・発表の内容</li> <li>・ワークシートの提出頻度と内容</li> </ul>

◎授業計画(1年間履修, 3学期制の場合)

学期	配 当 時 数	単 元	学 習 内 容	備 考 (学習活動の特記事項)	考 査 範 囲
1 学 期	3	Lesson 1 Let Me Introduce Our New ALT	○現在形, 過去形, 現在 進行形, 過去進行形の 用法を学習する。	○教科書の例にならっ て, 外国の友達を紹介 する英文を書く。	1 学 期  中 間 考 査
	3	Lesson 2 He Has Been Playing Tennis	○現在完了形, 過去完了 形, 現在完了進行形, 過去完了進行形の用 法を学習する。	○教科書の例にならっ て, 自分がこれまでに やってきたことにつ いて発表する。	
	3	Lesson 3 The Traffic Is Becoming Worse	○未来表現の用法を学 習する。	○教科書の例にならっ て, 授業で学ぶことを 発表する。	
	3	Lesson 4 You Had Better Talk to Her Now	○助動詞 would, 助動詞 might / must + have + 過去分詞, had better, used to の用法 を学習する。	○教科書の例にならっ て, 自分の昔の姿を思 い出して発表する。	
	1	Expressions in Use 1	○空港での入国審査の ときの表現を学習す る。	○空港での入国審査の 場面の会話練習をす る。	
	3	Lesson 5 What Is Being Built in Front of the Station?	○受動態(受け身)の用 法を学習する。	○教科書の例にならっ て, ニュースレポータ ーになったつもりで 英語でレポートをす る。	
	3	Lesson 6 Do You Mind My Using Your Dictionary?	○動詞の目的語になる 動名詞と to 不定詞の 用法を学習する。	○教科書の例にならっ て, 自分の趣味, 好き なことを英語で説明 する。	
	3	Lesson 7 Let Me Take a Look a It	○<使役動詞+O+原形 不定詞/現在分詞/過去 分詞>の用法を学習 する。	○教科書の例にならっ て, 子ども時代の思い 出を発表する。	
	3	Lesson 8 Carelessly, He Broke a Window	○副詞, 副詞句, 副詞節 の用法を学習する。	○教科書の例にならっ て, 会話をする。	
3	Expressions in Use 2	○電話での応答の表現 を学習する。	○電話での応答の場面 の会話練習をする。	1 学 期	
3	Lesson 9 I Seldom Go Out on Weekends	○準否定, 部分否定の用 法を学習する。	○教科書の例にならっ て, 自分たちの修学旅 行について発表する。	期 末 考	

	3	<b>Lesson 10</b> <b>This Book Shows You How to Make Good Choices</b>	○<疑問詞+to 不定詞>, 疑問詞節の用法を学習する。	○教科書の例にならって, 友達に観光スポットを教える。	査
	3	<b>Lesson 11</b> <b>It Is Amazing that Michael Can Solve Problems</b>	○形式上の主語 it, 形式上の目的語 it の用法を学習する。	○教科書の例にならって, 日本の伝統文化を海外の友達に紹介する。	
	3	<b>Lesson 12</b> <b>No Other Student Can Play As Well As He</b>	○原級や比較級を用いて表す最上級, 絶対比較級の用法を学習する。	○教科書の例にならって, 自分の大切なものなどを発表する。	
	1	<b>Expressions in Use 3</b>	○病院で診察を受けるときの表現を学習する。	○病院で診察を受ける場面の会話練習をする。	
	3	<b>Lesson 13</b> <b>Having Never Been to Okinawa...</b>	○受け身形/完了形の分詞構文, 独立分詞構文の用法を学習する。	○教科書の例にならって, 自分の体験を発表する。	
	3	<b>Lesson 14</b> <b>He Answered Whatever Questions I Asked</b>	○前置詞+関係代名詞, 複合関係代名詞/複合関係副詞, 関係代名詞/関係副詞の非制限用法を学習する。	○教科書の例にならって, 「夢の修学旅行」について自分の提案をまとめる。	
	3	<b>Lesson 15</b> <b>I Wish I Had Had More Time</b>	○仮定法過去, 仮定法過去完了, as if を用いた仮定法, if 節以外の仮定法表現を学習する。	○教科書の例にならって, 自分が経験した惜しかったことを発表する。	
	3	<b>Lesson 16</b> <b>It Was on Our Mother's Birthday that...</b>	○強調構文, 倒置構文の用法を学習する。	○自分の好きな歴史上の人物について調べ, 教科書の例にならって, 紹介する。	
2 学期	2	<b>Program 1</b> <b>Would You Do Me a Favor?</b>	○依頼・許可・断りを示す表現を学習する。	○数学のノートを貸してほしいというメールを, 理由をそえて書く。	2 学期  中間 考 査
	2	<b>Program 2</b> <b>Why Don't You Come and See Me?</b>	○助言・忠告を示す表現を学習する。	○指定された状況で, 助言・忠告を考え, 英語で表現する。	
	2	<b>Program 3</b> <b>This Is to Let You Know</b>	○苦情・謝罪を示す表現を学習する。	○図書館の開館時間についての苦情を, 生徒会長に伝えるメールを書く。	
	2	<b>Program 4</b> <b>Because He Can Relax with Her</b>	○原因・理由・根拠を示す表現を学習する。	○自分がインターネットの場所を選んだ理由を書く。	

2	<b>Program 5</b> <b>This Tablet Is Designed for Overseas Use</b>	○目的を示す表現を学習する。	○自分はなぜ英語を勉強するのか、自分自身の目的を書く。	2 学期 期 末 考 査
2	<b>Paragraph Writing 1</b> <b>Recommending Places to Visit</b>	○パラグラフの作り方を学習する。	○海外の友人が自分の住んでいる街を訪ねてくるときの過ごし方を提案するために、内容マップ、フローチャートを作成し、メールを書く。	
2	<b>Program 6</b> <b>Congratulations!</b>	○祝福・喜び・感謝を示す表現を学習する。	○テニス大会で優勝した友達に、お祝いのメールを書く。	
2	<b>Program 7</b> <b>What Would You Like to Be in the Future?</b>	○希望・期待を示す表現を学習する。	○自分の将来の夢と、その夢を実現するためにすべきことを書く。	
2	<b>Program 8</b> <b>What Are You Going to Do Next Weekend?</b>	○予定・意図を示す表現を学習する。	○自分の学校の来月の行事予定と自分自身の計画を書く。	
2	<b>Program 9</b> <b>I'm Not Sure, But It's True...</b>	○推察・確信を示す表現を学習する。	○天気に関するイラストの内容を、英語で書く。	
2	<b>Program 10</b> <b>In My Opinion, School-age Children Are Not Ready...</b>	○主張・賛成・反対を示す表現を学習する。	○動物実験に対する、自分の考えを書く。	
2	<b>Paragraph Writing 2</b> <b>What Is Your Dream?</b>	○パラグラフの作り方を学習する。	○自分自身の「将来の夢」を考えて、内容マップ、フローチャートを作成し、パラグラフを書く。	
2	<b>Program 11</b> <b>Across from the Department Store</b>	○場所・方向を示す表現を学習する。	○自分の町の市役所や学校などがどこにあるか、英語で説明する。	
2	<b>Program 12</b> <b>It Sometimes Happens in Wintertime</b>	○数量・頻度・割合を示す表現を学習する。	○自分がふだん、どのくらいの頻度と時間の運動をするのか、発表する。	
2	<b>Program 13</b> <b>Two Libraries in This City</b>	○比較・対照を示す表現を学習する。	○日本と中国を比較して、日本の特徴を書く。	
2	<b>Program 14</b> <b>I Was So Depressed about My English that...</b>	○程度・結果を示す表現を学習する。	○自分のこれまでの英語学習歴とその成果について書く。	

	2	<b>Program 15 Here Is a Way to Make the Most Popular Food</b>	○列挙・時間的順序を示す表現を学習する。	○スマートフォンで写真を撮り、その写真をメールで友達に送る方法を英語で説明する。
	2	<b>Paragraph Writing 3 Exchanging Our Warm Feelings</b>	○パラグラフの作り方を学習する。	○「お年玉」をテーマに、内容マップ、フローチャートを作成し、パラグラフを書く。

3 学期	3	<b>Project 1 Let's Start Saving Energy--- But How?</b>	○スピーチの方法を学習する。	○自分で選んだテーマについて、スピーチの発表を行う。	3 学期 学年 末考 査
	3	<b>Project 2 The World's Population</b>	○プレゼンテーションの方法を学習する。	○日本の学校教育に関するプレゼンテーションの発表を行う。	
	3	<b>Project 3 What Kind of Play Shall We Put On?</b>	○ディスカッションの方法を学習する。	○自分たちで選んだテーマについて、ペアまたは4人のグループを組み、ミニ・ディスカッションを行う。	
	6	<b>Project 4 High Schools Should Serve School Lunches</b>	○ディベートの方法を学習する。	○「日本のすべての高校は給食を出すべきである」という論題について、肯定側と否定側に分かれてディベートを行う。	

**[備考]**

- ・前後期制（2学期制）の場合 Lesson 1～16 が前期， Program 1～Project 4 が後期と考える。
- ・2年間に渡る履修の場合， Lesson 1～16 が2年生， Program 1～Paragraph Writing 3 が3年1学期， Project 1～4 が3年2・3学期の範囲と考える。